



自分たちのまちは 自分たちで守る

燃え盛る炎を前に臆せず、消防士と共に迅速かつ丁寧に消火活動をする消防団。普段は会社員や自営業などそれぞれの本業を持ちながら、有事の際には活動服に身を包み、自分たちが住む地域や住民を守るために奮闘します。

消防団は、消防本部や消防署と同様に、「消防組織法」に基づいた組織として地域に設置されています。その活動は平時から災害時まで多岐にわたり、団員は仕事や家事、育児の合間に訓練や啓発活動に

励み、地域防災の要を担っています。実際、東日本大震災では、団員が避難誘導のほか、消防や自衛隊と共に救助活動・消火活動・搜索活動にもあたりました。また、市の要請で避難所や断水地域で給水活動をするなど、住民の生活を支えたといえます。

予測不能な火災や自然災害に備え、住民一人一人が防災意識を高めることが重要です。今号では、住民の先頭に立ち、共助の力を高める消防団の活動に迫ります。

市民の**安全**と**安心**を守る

まちの**英雄** **消防団**

照 会 消防総務課 ☎0537⑧2655

御前崎市消防本部 山崎 健 消防長

過酷な現場で共に**戦**う同志

本市の令和5年火災件数は8件で、旧浜岡町と旧御前崎町の合併以降、令和元年と並んで最少件数でした。県内の同規模自治体と比べても少ない件数であり、消防団の啓発活動による住民の火災予防意識向上のおかげです。

また、御前崎市の消防団と消防署の連携の強さは県内随一です。火災現場では、消防団の地元だからこそ知る的確な水利確保と統制された組織力に心強さを感じています。消防団の皆さんは、われわれにとって御前崎市の安全と安心を守る同志です。

消防団は、火災・風水害対応や行方不明者搜索活動のほかにも、町内会行事への協力やイベントの警護など、多岐にわたる活動を通じて地域に根付き、住民の信頼が厚い組織です。地域防災の要である消防団には住民からの熱い期待が寄せられています。



消防団員の声

普段は社会や家庭で笑顔を見せる、いち市民。しかし、災害が発生すると一転、真剣な眼差しで活動する消防団員の“リアルな声”を届けます。

女性隊



「難しく考えすぎず、気軽にご参加ください。」

ちあき 中島 千晶 さん
 団員歴1年/市内在勤26歳/カイロプラクター

7分団



「勇気を出して、一歩踏み出してみよう。」

ひろあき 塚本 洋章 さん
 団員歴8年/白羽区34歳/電気工事事

1分団



「一緒に地域を守ろう。」

こうじ 岡村 晃嗣 さん
 団員歴5年/本町31歳/靴販売員

四国出身で消防団活動には無縁だった私に務まるのか不安はありましたが、実際に災害があったときに備え、入団を決めました。消防学校での勉強会では火の怖さを改めて実感し、火の取り扱いにはより注意を払うようになりました。

女性隊は主に啓発活動を実施し、住民の皆さんの意識の向上に努めています。現在、女性隊は7人と少ないので、仲間が増えるとうれしいです!!

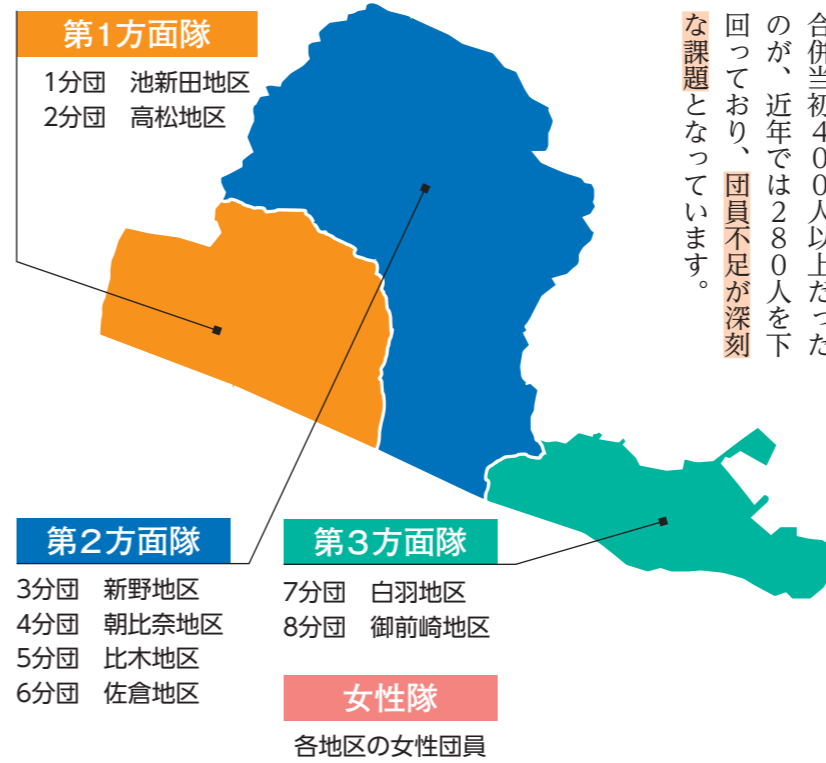
家で活動服に着替えると子どもが「今日は消防?頑張ってるね」と応援してくれるので元気が出ます。

消防団には訓練が大変、厳しいというマイナスイメージがあるかもしれませんが、それは活動に危険が伴うからです。苦労を共にする仲間との活動は楽しいです。地域貢献ができ、自身の成長のチャンスです。迷っているのならぜひ入団を!!

地元の先輩に勧誘され、地域貢献ができると思い、入団しました。初めて火災を目の前にしたときの恐怖は忘れられません。消防士や地域と連携して消火できたときは、安堵感に浸ると同時に安全を守る大変さを実感しました。

消防団活動は1人ではできません。団員や地域との連携が不可欠です。このまちに住む一員として、一緒に地域を大切にしましょう!!

※分団名は令和6年4月1日からの区分です。



「8分団に再編し」「方面隊」を創設します

昼夜問わず御前崎市の安全・安心を守る存在である消防団。近年多発する風水害や発生が危惧されている南海トラフ巨大地震に備え、消防団の必要性や重要性は高まっています。

しかし、本市の団員数は、合併当初400人以上だったのが、近年では280人を下回っており、団員不足が深刻な課題となっています。

そこで、分団の再編成と方面隊の創設を実施し、新たな枠組みで地域を守っていきます。これにより、出動体系の構築や指揮系統、情報収集などの円滑化を図るとともに、他分団との連携に柔軟な対応が可能になります。

4月1日から新体制がスタート



消防団の活動

地域を知っているからこそ、迅速な行動でまちを守る消防団。彼らがまちを守るために活動していることをお伝えします。



あなたのチカラを消防団に!! information



あなたもまちの英雄になりませんか

消防団員募集!

入団条件

市内在住・在勤の心身ともに健康な18歳以上

報酬・福利厚生など

- ・非常勤特別職の地方公務員
- ・年額報酬のほか、出動や訓練に対する出動報酬を個人支給
- ・退職時には退職報奨金を個人支給
- ・公務災害補償・福祉共済の完備
- ・消防団活動に必要な被服、装備を貸与

ご興味のある人は
消防総務課 (0537)2655)まで!!

目の前の大切な人を守ることの積み重ね

「まちを守る」というと、とても大きなことのように思われるかもしれませんが、でも、そうではなくて、いざというとき自分のことはもちろん家族や友人など、目の前の大切な人を守るための行動の積み重ねだと思えます。団員だけでなく、地域の皆さんの日々の小さな行動がまち全体を支えているのです。

消防団は住民を守るための組織として、地域との結びつきを大切にしています。「活動は大変そうだし、仕事や家庭との両立は無理」と思われがちですが、時代の変化に伴い活動も変化しています。団員一人一人が経験を積み、知識を共有しながら、地域の防災リーダーとして力を発揮してくれています。

安全・安心なまちづくりには一人でも多くの人の協力がが必要です。消防団の仲間として、御前崎の暮らしと一緒に支えていきませんか?

あなたのチカラをお貸しください!



訓練・予防消防

平時には、火災・災害を想定した訓練を実施し、緊急時に備えています。消防車での巡回や特別警戒など、住民への啓発活動「予防消防」を実施しています。

消火活動

市内で火災が発生した際は職場や自宅から迅速に駆けつけます。消防団は各地域に拠点を置くため、消防署より先に消火活動を開始する場合があります。

災害防御

地震や風水害が発生した際は行政・自治体と連携して避難誘導や救助活動などを実施します。地域を知り尽くし、さまざまな職業から構成される消防団は、その知識と技術を生かして災害に対応します。

火災が発生したら

平時はそれぞれ仕事などを行っている団員。いつ出動指令があるかわかりません。指令が発せられると、勤務先の了解を得て災害現場に駆けつけます。

